

糖尿病について

糖尿病は膵臓で作られるインスリンの働きが低下する「2型糖尿病」と膵臓のβ細胞が破壊され発症する「1型糖尿病」の二種類があります。

糖尿病の患者様の殆どが2型糖尿病で、多くは中年を過ぎて発症します。近年食生活が欧米化し高脂肪、高カロリー、高糖質の食事が多く運動不足

の人が多く、日本人の糖尿病は増加しています。

糖尿病を調べるには血糖値を調べますが10～125mg/dl 要注意(境界型) 126mg/dl 以上だと糖尿病と診断されます。さらに経口ブドウ糖負荷試験は75gブドウ糖を飲み二時間後の血糖値が200mg/dl 以上で

糖尿病と診断します。

この二つの検査で二回判定されれば糖尿病と診断され治療が必要になります。治療せず放置すると合併症、脳血管障害、狭心症や糖尿病性壊疽を起す。そのため糖尿病治療の食事療法、運動療法、薬物療法の三つが必要になります。

また薬物療法では病態にあわせた薬を処方しますが、最近では、食後高血糖を改善する

◇ 入浴中での心電図検査の有用性 ◇

世界でも類を見ないほど入浴を好む日本人。日々の入浴で1日の疲れを癒すだけでなく、リラクゼーションの効果もあります。ホルター心電図検査は日常生活中心電図を記録する目的で装着します。毎日の日課である入浴も含めた記録ができる防水型ホルターなら、これまで叶わなかった入浴時の温度変化、水圧負荷時の心電図も逃がさず記録することができます。

家庭における不慮の事故のうち、入浴中の溺死は年間3,000件を超えます。そのうち、65歳以上の高齢者が占める割合は80%近くにおよび、入浴死の原因の過半数が心筋梗塞です。次いで脳出血、脳梗塞と続きます。

日常生活の何気ないワンシーンも見逃さずに全ての時間の心電図を記録できるホルターこそ、本来の24時間ホルター心電図と言えます。



★ 新人紹介

新人スタッフをご紹介します。
 Q. お名前を教えてください。
 A. 徳井幸子(トクイサチコ)です。生年月日は昭和五十一年八月二日。し座。B型です。
 Q. 趣味は何ですか?
 A. ミシンを使ったり、自バンを作る事です。自

分でこの大きさが欲しいと思いついたら型紙なしで好きな様に作り、普段使う力バンは自作の力バンです。
 Q. この仕事を選んだ理由は?
 A. この仕事の前にヤクルトレイヤーをしていましたが、免疫についてや医学の事を学んだ時に興味を持ち、もっと医療について学びたいと考えたからです。
 Q. 特技は何ですか?
 A. 上手くはありませんが、美容師免許を持っていてカットやアップをする事です。
 Q. 今後してみたい事は?
 A. 昨年いけなかった

インフルエンザ予防接種のご案内

一般の方

期間:H26年10月1日~H27年2月28日
 料金:1回 2,160円

65歳以上の方

期間:(淡路市・洲本市) H26年10月1日~H26年12月31日
 (南あわじ市) H26年10月1日~H27年1月31日
 料金:1回 1,000円



井 幸子)の事を学び、患者様、院長、スタッフの方のお役に立てる様に努力して行きたいと思っています。(医療事務 徳井 幸子)

予約はこちらから

電話: 0799-62-5566 (診療時間内)
 インターネット・携帯電話: <http://www.ukr.jp/soyama/> (24時間対応)
 携帯電話からは右のQRコードからでも予約できます

